

企画意図

インターネットによるコミュニケーションは、いまや社会で欠かせないものとなっている。子どもの間でも、携帯電話を中心に、さまざまなネット利用が広がっているが、一方でネットのトラブルも増加している。この教材は、ネットに詳しい断家の柳家三之助さんの軽妙な語り口とケータイ世代の中学生とのやり取りを通じ、ネットのトラブルを防ぎ、そして、インターネットを有効に活用していくためのヒントを提供するもの。再現ドラマや図表なども交え、わかりやすく解説していく。授業で使いやすいようにチャプターごとに課題を整理しており、また各パートのラストには問題点の再確認のための質問を設けており、使い勝手の良い教材として工夫している。

内容

・プロローグ

三之助師匠と中学生二人が、撮影スタジオに集合。
これからインターネットに関する番組の収録が始まる。

・パート1 架空請求

架空請求の罠にはまった中学生の事例を参考に、架空請求の手口、対処法などを学ぶ。また、フィルタリングの解説も交える。最後に、架空請求のメールを受け取ったらどうするかという設問を置いて、内容の復習をする。



・パート2 ルールとマナー

ネットに関する問題の一つとして「ネット依存症」がある。ネット依存症に陥らないためにどうすればいいのか考える。また、ネット上の「誹謗中傷」について、相手の立場に立って考えることの重要性を提示する。そして「いじめの加害者にならないためにはどうすればいいか」という質問を示す。



・パート3 個人情報

実際にあった高校1年生女子のネットストーカー体験談をもとに、個人情報の重要性を考えていく。些細な情報だと思って油断して相手に伝えてしまうが、それが積み重なることによって個人を特定されてしまうことについても伝えていく。高校生の体験談のような事態にならないためにどうしたらよかったのか、皆で考えさせる質問を提示する。



・パート4 ネットとケータイのこれから

携帯やネットは、生活を豊かにしてくれるもの。ネットの仕組みやトラブルを避ける知恵を身に着ければ決して恐ろしいものではないということをも、東日本大震災という非常時に、ネットがとても役に立ったことなども触れながら解説していく。



出演：柳家三之助



プロデューサー：中鉢 裕幸
安西 志麻
脚本・監督：竹藤恵一郎
撮影：杉浦 誠
照明：城所 美和

制作協力：株式会社オフィス・シマ

企画・制作：東映株式会社 教育映像部